

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	商学部	身分	教授
氏名	齋藤 叫		
NAME	Takeru Saito		

1. 研究課題

（和文）アメリカ合衆国における「国家介入」の諸相－恐慌・不況期から戦時動員体制へ－

（英文）Reconstruction Finance Corporation and the New Deal credit revolution

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）標記のテーマの下、とりあえず「実験期」（1930年代）におけるメゾレベルの「国家介入」について、Reconstruction Finance Corp. (RFC) の生成期（フーヴァー期）及びニューディール期（1932~1939）の活動に焦点をあてながら、①金融システム安定化政策の展開とその成果、②直接産業融資（direct business loan）政策の生成とその「失敗」、③農業融資（Commodity Credit Corporation=CCC）の構造ととくに南部社会に及ぼした影響、以上3点について資料収集と検討を行った。このうち生成期（1933~1938年）のCCCについてはわが国はもちろんのこととして、アメリカ国内においても研究蓄積がほぼ皆無であるため、関連する議会資料、政府資料、同時代の雑誌・新聞記事などの一次史料の収集を行うとともに、活動の基盤をなす当該期の南部経済史－とりわけ綿花経済に関する基礎文献の収集・検討を集中的に行い、さらにCCCの先行構想とされる1889年の"Sub-treasury Plan"についても比較検討を行った。この過程でアメリカの通貨・金融問題等を経済史的に考える場合、1880年代の人民党結成に至る農民運動の高揚期および世紀転換期における「革新主義」との連続性（断続生）との関係から捉える視角の有効性－アメリカ経済の「合理的再編」－を確認できたと考えている。なお当初予定していたアメリカ公文書館（NARA）におけるRFC Papers (Records Group 234) の調査は校務等の都合で実現できなかった。2014年度春に「基礎研究費」を活用して行う予定である。

（英文）Reconstruction Finance Corporation (RFC) was the first and the most important one of the New Deal “acronym agencies”, and played a pivotal role in recovery of the depression era. The major objective of this study is to provide a historical account of RFC’s loans to business enterprise, railroads and agricultural financing institutions (especially Commodity Credit Corporation) and to examine its functions in the New Deal credit revolution.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p>
<p>【予定】 斎藤 叫「商品金融公社の綿花融資 1933-1938」、『アメリカ経済史研究 第13号』、 2013年（発行年月不明）</p>
<p>【予定】 斎藤 叫「復興金融公社の直接産業融資 1932-1938」、『商学論纂 第55巻』、 2014年3月（刊行予定）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
<p>斎藤 叫「1930年代をどうとらえるかーCommodity Credit Corporationの綿花融資を中心に」、 アメリカ経済史学会12月例会（立教大学、2012年12月1日）</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>